

| | | | | |
|---|--|------------------------|---------------------|-----------------------|
| カリキュラム Curriculum | 文学研究科MC | | ナンバリング Numbering | |
| 番号 Number | 科目種別 / 学科目 Course title | 転用科目 Substitute for | | 種別 Subject type |
| 207 | 日本語学史(通年) <History of Studies in Japanese Linguistics> | | | 演習 |
| 専攻 Major | 担当教員 Instructor(s) | | 開講期 Semester | 開講時間帯 Day and time |
| 日本語学 | 釘貫 亨(KUGINUKI, Toru) | | 前期 | 月曜：3限 |
| 講義題目 Title | 『万葉集』を読む | | | |
| 単位 Credit | 2 | | | |
| 備考 Others | | | | |
| 履修条件 注意事項 Requirements for registration | 特に定めませんが、演習の進め方について細かい規程があるので十分留意してもらいたい。日本語学専攻学生は、卒業論文のテーマを探すつもりで積極的に取り組んでほしい。 | | | |
| 授業の目的 Purpose | 万葉集を解釈し、8世紀奈良時代後の実態を学ぶ。その実践を発表討論することを通じて、日本語史研究に必要な見識を得る。 The aims of this course are (1) To provide students with the factual linguistic knowledge on Old Japanese. (2) To help students acquire the skills and proficiency needed for historical study on Japanese. | | | |
| 授業の内容 授業の方法 Content | <p>授業参加者が自らの調査結果を発表し、授業中の討論に付する。質疑を通じて古代日本語に関する知見を深めて日本語史研究の具体的課題を獲得する。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：万葉集演習に関するガイダンス 第2回：万葉語「とり」 第3回：万葉語「やま」 第4回：万葉語「ゆき」 第5回：万葉語「かは」 第6回：万葉語「あめ」 第7回：万葉語「つち」 第8回：万葉語「たに」 第9回：万葉語「ゆめ」 第10回：万葉語「くも」 第11回：万葉語「きり」 第12回：万葉語「むろ」 第13回：万葉語「こけ」 第14回：万葉語「さと」 第15回：授業のまとめ</p> | | | |
| 教科書 テキスト Textbooks | 鶴久、森山隆編『万葉集』（おうふう）を利用しているが、全巻を検索できるものであれば、どれでもよい。 | | | |
| 参考書 References | 授業の都度指示する | | | |
| 受講生の 自宅学習 Preparation and review | 発表担当者の準備は当然であるが、受講者も問題意識を深めるために予習を怠らないでほしい。 | | | |
| 成績評価の 方法と基準 Evaluation | 発表の成果とレポート。 | | | |

連絡方法
Contact
information